医学研究センター

研究支援管理部門

小谷　典弘
（部門長）

1. 構成員

部 門 長　小谷典弘（KOTANI Norihiro）　：医学研究センター　生化学：教授
副部門長　堀内　大（HORIUCHI Yutaka）　：医学部　微生物学：講師
部 門 員　森　　隆（MORI Takashi）　：総合医療センター　研究部：教授
前田智也（MAEDA Tomoya）　：国際医療センター　造血器腫瘍科：准教授
佐藤　毅（SATO Tsuyoshi）　：大学病院　歯科・口腔外科：准教授
駒形英樹（KOMAGATA Hideki）：保健医療学部　臨床工学科：准教授
町田早苗（MACHIDA Sanae）　：医学研究センター：講師

2. 目的

研究マインド醸成，学内グラントの活用，学外研究費獲得の推進，研究成果の管理，リサーチアドミニストレーションセンターとの連携による研究倫理推進等により，学内研究者の研究活動を支援する．

3. 活動報告

1）学内グラントと研究奨励費の助成

2022 年度学内グラント募集では，丸木記念特別賞 5 件，科研費申請支援グラント 28 件，計 33 件の応募があった．分野別の複数の選考委員による予備審査の後，学内グラント選考委員会が開催され，丸木記念特別賞 1 件，科研費申請支援グラント 27 件，計 28 件の研究テーマが採択された．さらに，学内グラント採択課題（科研費申請支援グラント）が翌年，翌々年度に科研費採択（研究テーマが直接関連していることが条件）の場合に対象となる研究奨励費（20 万円，購買経由の使用，経費報告書必要なし）が計 2 件助成された．

2）科学研究費獲得状況の把握

2022 年度の科研費申請総数は 191 件であり，2021 年度の 179 件に対して増加した．科研費採択結果は，2021 年度の新規採択 49 件（採択率 27.4%），採択総額 252,290 千円に対して，2022 年度は新規採択 57 件（採択率 29.8%），採択総額 242,450 千円であり，採択率は去年より高い結果となった．今後も引き続き，学内グラントや科研費アドバイザー制度等の活用により，申請総数・率，採択率，採択総額のさらなる向上を目指して支援を継続する．

3）剽窃検知ソフト iThenticate の運用

論文作成では，意図せず剽窃とならないように注意が必要である．剽窃とは，他の研究者のアイデア，情報や成果等を当該研究者の了解もしくは適切な引用なく発表することであり，このような研究不正が発覚すると著者個人だけでなく組織全体に信用失墜等の重大な影響が及ぶ．近年の論文デジタル化とインターネット普及を背景に，平成 25 年施行の博士論文オープンアクセス化（公表義務）に伴って現在までに国内の半数近くの医学部を有する大学に導入されている剽窃検知ソフト iThenticate を，研究マインド支援グラント（共通部門研究費）を用いて，平成 29 年度から 30 年度にかけて試験的に運用を始めた．現在は，リサーチアドミッションセンターからの申請により，大学経費からの支出で運用されている．なお，2019 年度からは，大学院学位審査の際の学位論文の提出にあたって，iThenticate による検知を実施することが義務化された．

4）悪徳雑誌（ハゲタカジャーナル）への対応

著者側が掲載料を支払い読者側は無料アクセスできるオープンアクセス誌が急増しているが，誤って悪徳雑誌（ハゲタカジャーナル）に投稿しないように注意が必要である（日本医学会から注意喚起の通達が発行され，日本学術会議において対応策が検討中である）．これに関して，適宜情報提供を行っている．

5）科研費アドバイザー制度の運営

2020 年度より，科研費採択率の向上を目指し，リサーチアドミニストレーションセンターとの共同で，科研費の全種目を対象とした科研費アドバイザー制度を運用している．2022 年度は，科研費審査委員や大型競争的研究資金獲得経験のある研究者を中心とした 45 名がアドバイザーとして登録され，利用者の研究計画調書を個別に添削した．利用件数は 63 件で，種目の内訳は若手研究 25 件，基盤研究（C）33 件，基盤研究（B）2 件，挑戦的研究（萌芽）1 件，研究活動スタート支援 2 件であった．

さらに，片桐センター長を講師として，「2022 年度 科研費研究計画調書の書き方に関する講習会」を企画し 8 月 22 日に実施した．webinar の内容は限定公開で YouTube 配信を行い，その視聴回数は 149 回であった．受講者アンケートでは，e ラーニング・講習会は科研費アドバイザー制度の周知に役立ち，内容は判りやすく役に立ったとの回答を得た．

次年度以降も，より効果的で利用しやすいものを目指して「科研費アドバイザー制度」をブラッシュアップし，本学の科研費採択率向上につなげたい．

© 2023 The Medical Society of Saitama Medical University